



栗原のチカラ

- 仕事人 -

志ごとびとインタビュー

栗原には、情熱と誇りをもって働く志ごとびと（仕事人）がいる。それは、まさに栗原を支えるチカラ。そんな『志ごとびと』の声を届けます。

有限会社 えびす 代表取締役

佐藤 勝郎 氏

■ 脱サラからの起業。

1997年5月『えびす』を創業

高校卒業したころから漠然と起業したいと思っていたんだけど、はじめは10年ほどサラリーマンとして働いていたわけ。俺がサラリーマン時代は、バブル絶頂期で、居酒屋さんが繁盛する始まりだった。

まさにそういう居酒屋さんがあって、毎日わんわんお客さんが入っていて、そんな雰囲気が好きで居酒屋に通ってた。とにかくお客さんが喜んで騒いでいるんだよね。お店で働いている人たちも、楽しそうに働いている。こういう商売ってすごいなって。俺もこういう商売をやるうって。

それで、28歳になるちょっと前に仕事を辞めて約9年、飲食業の世界に入って学んで、1997年5月3日に『えびす』を創業したわけ。

■ 「地元志向」の食材。地産地消の先駆け。

目指したのは「家族で来れる居酒屋さん。」

えびすを始めたときは市内では後発だったんだけど、こだわったのは、居酒屋さんってお酒飲むのが主体だけど、俺が目指したのは「家族で来れる居酒屋さん。」それが逆に地元の人たちに受け入れられた。



昔からずっと地元志向でやってきたのね。食材でもなんでもすべて。もともと農家の人たちとのつながりが多くて、えびす創業時から食材は地元のものを使おうって考えて、今で言う「地産地消」の先駆けだったと思う。

自分が肉屋（ダイチ）を始めるきっかけというの、そんな食材つながりから始まっているしね。

■ 基本的に社員志向の強い経営者。

だからどんどん仕事を任せていくタイプ。

サービス業の労働環境整備って、遅れているんです。でも、今の時代はそうはいかない。だから、今、会社として労働環境を整えています。この前、男性社員に初めて育児休暇を取らせただけ、そういうところを、どんどん整備していこうと思っています。それを目指さないと、働く人も来ないからね。

俺は、基本的に社員意向が強い経営者なので、どんどん仕事を任せていくタイプ。

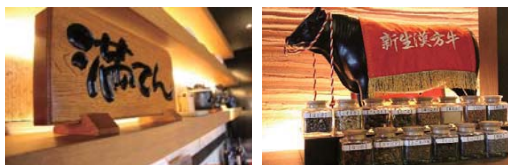
だから、『ダイチ』も今じゃ俺がいなくても会社は回っているし、『満てん』ももちろん指示出したり会議したりしてますけど、ある程度現場は任せてます。

■ 俺の中で、「最低3人の社長をつくる。」

という目標がある。

飲食部門の幹部たちはほとんどが30代。この若い人たちが今後どうこの会社を利用して自分たちの生活をつくっていくかっていうことが重要。その道筋を一緒に考えながら、経営に参画させていくというのが俺の考えだね。

俺の中で「最低3人の社長をつくる。」という目標がある。今も会社を3つ経営しているわけだから、そのすべての社長を譲っていければと思っている。自分が興した事業で、この先、生活していける過程をしっかりと渡していければいいかなって。そういうロマンがある。



■ 女性がやりがいを感じる職場にしていきたい。

ダイチは今、女性社員が多く、小さい子どもを抱えている社員もいたりするんだけど、そんな女性社員がやりがいを感じる職場にしていきたいと提案している。そういう会社でありたい。パート社員もいるけど、会社の大事な会議にはパートさんも出席してもらったり、オープンな会社なんです。

幹部社員になった女性がいるんだけど、最初はパート採用だったんですよ。それから社員になって、課長に昇進して、この4月から部長に！うちの経営幹部ですよ。

うちの会社の女性社員は子どもを産んでもみんな戻ってくるんだよ。今、店の営業スタッフは、もともと若くは若い頃からは働いていて、一旦結婚を機に職を離れてまた戻ってきたスタッフが4人くらいいる。これは栗原の子育てに手厚い政策がそういうところを押し上げているんだと思う。これは栗原市外の人は羨ましがっているよね。栗原っていいなってすぐ言われるもんね。

■ もともと住んでいる人たち自身が頑張っていけないと、「まち」は衰退してしまう。

『満てん』のお店の営業を始めたのも当時、栗原の10年後を想像した時に、夜だけでは2つのお店を運営していけなくなるって、なんとなく感じたから。10年後の高齢化の現実が見えてきたころだったから。

栗原もこれからの人口動向が不安な中で、これから移住してくる人たちが新しい力や、アイディアなんかを吹き込んでくれるんじゃないかなと期待しています。

そこは大切にしていって方がいい。移住してきた人って生きる力が強いんだよね。地元の人にはほんやりしているけど、移住してきた人は色々考えているじゃないですか。

地元にとっぴり浸かっているとほんやりするけど、移住してくる人はまずここにくる勇気がすごい。そういう生きる力がすごく強くて、すごく感心するし、勇気やエネルギーをいっぱいもらうね。でも移住してくる人たちだけでなく、もともとこのまちに住んでいる人たちが頑張っていけないと「まち」って維持できないし、衰退してしまうと思うんだよね。

大企業がいっぱい立地するのは素晴らしいことだと思うけど、大企業はいつまでいてくれるか保証はないもんね。だからこそ、地元の部分の事業をやっている人だったり、住んでいる人たち自身がもっともっと活性化していけないとね。

志ごとびと 佐藤さんのお店はコチャ

- 会社名 えびすグループ本部
宮城県栗原市築館葉師4丁目10-16
TEL 0228-22-6030 FAX 0228-23-2470
http://www.ebisu-gp.co.jp/gaiyou/
- 創業 平成9年5月3日
- 設立 平成17年6月1日
- 店舗 【ご馳走ダイニング満てん】
〒987-2252 宮城県栗原市築館葉師4丁目10-16
営業時間 11:00~14:00, 17:00~23:00
定休日 不定休
【えびす築館漁港】
宮城県栗原市築館葉師4-7-26
営業時間 17:00~24:00
定休日 不定休
【焼肉牛丼】
〒989-6221 宮城県大崎市古川大宮1丁目1-3
営業時間 11:30~14:30, 17:00~22:30
定休日 第2火曜日、第4火曜日
【ぶた和いん】
〒980-0803 宮城県仙台市青葉区区分町2丁目8-15
デュプレックス仙台 1F
営業時間 17:30~翌2:00
定休日 無休
- 事業内容 飲食事業 居酒屋、和食ダイニング、食堂、レストラン

